

緩和ケア病棟における終末期がん患者の入院時褥瘡を有した症例の検討

1、研究の目的と意義

進行癌の終末期患者は低栄養や痩により褥瘡が発生しやすく、一旦褥瘡が発生すると全身状態の悪化により治癒が困難な集団です。本研究は、2017年4月1日～2022年3月31日の5年間で当院緩和ケア病棟に入院し、入院時に褥瘡を形成していた患者さんについて、褥瘡が改善または悪化した要因について検討を行いました。本研究は今後の褥瘡治療の手助けとなり、また褥瘡予防にもつながると考えます。

2、対象となる患者さん

本研究の対象は、2017年4月1日から2022年3月31日までの期間で当院緩和ケア病棟に入院し、同入院中に亡くなった患者さんです。

3、研究の方法

褥瘡が治癒または改善した群と不変または悪化した群に分け、生存期間、入院時の活動性や褥瘡の状態、採血結果、経口摂取量、予後予測、入院経路などに差があるかを検討します。

褥瘡の状態は DESING-R というツールを使用します。

Depth 深さ		創内が一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと相応の深さとして評価する	
d	0	皮膚損傷・発赤なし	3 皮下組織までの損傷
	1	持続する発赤	4 皮下組織を超える損傷
			5 関節腔、体腔に至る損傷
	2	真皮までの損傷	DTI 深部損傷褥瘡(DTI)疑い
			U 壊死組織で覆われ深さの判定が不能
Exudate 浸出液			
e	0	なし	E 6 多量:1日2回以上のドレッシング交換を要する
	1	少量:毎日のドレッシング交換を要しない	
	3	中等量:1日1回のドレッシング交換を要する	
Size 大きさ 皮膚損傷範囲を測定:[長径(cm)×短径(cm)]			
s	0	皮膚損傷なし	S 15 100以上
	3	4未満	
	6	4以上 16未満	
	8	16以上 36未満	
	9	36以上 64未満	
	12	64以上 100未満	
Inflammation/Infection 炎症/感染			
i	0	局所の炎症徴候なし	3C 臨界的定着疑い(創面にぬめりがあり、浸出液が多い。肉芽があれば、浮腫で脆弱など)
	1	局所の炎症徴候あり(創周囲の発赤・腫脹・熱感・疼痛)	I 3 局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭など)
			9 全身的影響あり(発熱など)
Granulation 肉芽組織			
g	0	創が治癒した場合、創の浅い場合、深部損傷褥瘡(DTI)疑いの場合	G 4 良性肉芽が創面の10%以上50%未満を占める
	1	良性肉芽が創面の90%以上を占める	5 良性肉芽が創面の10%未満を占める
	3	良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める	6 良性肉芽が全く形成されていない
Necrotic tissue 壊死組織 混在している場合は全体的に多い病態をもって評価する			
n	0	壊死組織なし	N 3 柔らかい壊死組織あり
			6 硬く厚い密着した壊死組織あり
Pocket ポケット 毎回同じ体位で、ポケット全周(潰瘍面も含め)[長径(cm)×短径(cm)]から潰瘍の大きさを差し引いたもの			
p	0	ポケットなし	P 6 4未満
			9 4以上 16未満
			12 16以上 36未満
			24 36以上

4、研究に用いる試料・情報

- ・患者背景:年齢、性別、癌種(臓器)、遠隔転移の有無
- ・褥瘡の部位、重症度、治療法、使用マット
- ・日常生活自立度
- ・経口摂取量
- ・入院経路
- ・自覚症状、他覚所見
- ・血液検査所見
- ・併用薬

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2025年12月31日

6、外部への試料・情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は千住病院のみで実施する研究です。

研究責任医師: 特定医療法人 雄博会 千住病院 形成外科・緩和ケア科 千住 千佳子

8.お問い合わせ先

特定医療法人 雄博会 千住病院 形成外科・緩和ケア科 千住 千佳子

住所:長崎県佐世保市宮地町 5-5 電話:0956-24-1010(総合受付)

【ご意見、苦情に関する相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)

千住病院 患者相談窓口(受付時間:月～金 9:00～17:00(祝・祭日除く))

住所:長崎県佐世保市宮地町 5-5 電話:0956-24-1010